

●ひきこもりについて

相談窓口の明確化を。

厚労省が令和2年10月に出した「ひきこもり支援施策の推進について」の通知では、市町村が令和3年度末までに実施することとして、ひきこもり窓口の明確化、支援対象者

の実態やニーズの把握、支援のためのプラットフォームの設置運営が挙げられています。ひきこもり支援の第一歩は支援対象者の実態をつかむことで、わかりやすく、相談しやすい窓口が必要です。「ひきこもりの相談窓口は、社会福祉課です。他の部署でもご相談に応じます」と市民に知らせることが大切です。

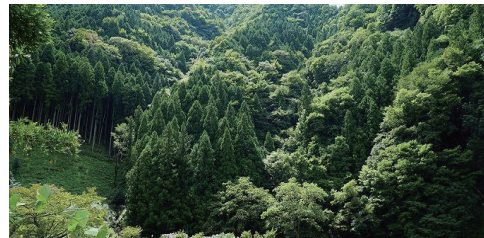
●森林整備について

山林所有者の明確化を。

館山市の林野率は43.6%で、多くが放置林となっています。一昨年の台風による倒木、ナラ枯れで枯れた樹木も大半はそのまま放置されています。

所有者が不明な山林、中には相続されずに何世代も過ぎていく所もあり、災害時に倒木や地崩れが起きて

も、所有者が不明で対応できないことがあります。停電の予防のため、電線にかかる危険のある樹木の整備も必要です。山林の有効活用だけでなく、防災のためにも山林の所有者の明確化を進めるべきです。



令和2年度決算

令和2年度一般会計決算は、令和元年度台風からの復旧復興費用、新型コロナウイルス感染症対策のための国の交付金等が増え、規模が増加しました。

歳入326億7,191万6千円、歳出310億7,961万6千円、差引額15億9,230万円のうち、翌年度繰り越し財源2

億9,224万8千円を差し引いた実質収支は13億5万2千円です。

令和元年度台風の際に切り崩した財政調整基金は5億7千万円回復し、16億7千万円となりました。

令和3年度補正予算より

◎新型コロナウイルス対策費

新型コロナウイルス対策費として、国から約5,900万円の追加交付が決まりました。

昨年度からと合わせて約12億1,000万円が、コロナ対策費として交付されることになります。



* この追加交付を利用した主な事業

- ・ 中小企業等事業継続支援給付金 3,574万1千円 (10万～30万円 申し込み、問い合わせは、館山市商工会議所へ)
- ・ 宿泊業者感染防止対策等支援 2,227万8千円 (宿泊事業者の感染防止対策等に係る経費の1/2 上限15万円～50万円)
- ・ 家庭学習対策費 1,240万円 (家庭におけるタブレット端末有効活用のための付属品の整備)

◎清掃センター長寿命化のための改良工事について

老朽化が進んだ清掃センターを今後も使い続けるため、焼却炉や様々な機械類の改良工事を行います。30億6,680万円で日立造船株式会社東京本社と工事請負契約を締結し、令和6年2月完成予定です。環境省の循環型社会形成推進交付金による補助を受け、二酸化炭素排出量も削減される予定です。

伐採された木の枝や、草なども焼却ごみとして清掃センターに持ち込まれています。ごみの削減と同時に、これらを原料とするバイオマス発電設備も模索したい課題です。



おわりに



この夏、海水浴場が短期間で閉鎖されても、都市部からは多くの観光客が訪れました。緊急事態宣言が解除さ

れ、更に人々の動きは活発になります。再び感染が広がらないよう用心して行動したいと思います。